

上越市 まちなか居住推進事業

【直江津地区】

ニュースレター Vol.3

「まちなか居住推進事業」とは？

まちなかに“これからも住み続けたい”“新たに住んでみたい”“また訪れたい”と思う人が自然に集まるまちを目指す**新しいまちづくり**の取組です！

本紙やホームページを通じて事業の取組内容や進捗状況を定期的にお知らせしています。

今回は、地区全体の**まちづくり方向性**や**将来イメージ**、**今後の進め方等**についてお伝えします。

◆ キャッチフレーズと基本方針

町内会長が目指すまちのイメージを踏まえ、**キャッチフレーズ**と**まちづくり基本方針**を整理しました。

【キャッチフレーズ】

こころ踊る「港町直江津」

～“歩いて楽しい”“暮らして便利”“人をつなぐ”まちへ～

【まちづくり基本方針】

- 日本海や歴史を感じる街並みや集客施設などを活かし、**住んでいる人も、訪れる人もこころ踊る**楽しいまち
- 公共交通や商業施設、子育て・教育環境が整い、**便利に安心して暮らせる**まち
- 歴史や伝統ある文化を通じ、**人と人がつながる**まち

地域と行政の

「協働のまちづくり」

を目指しています



◆ ゾーニング【建物用途+個別用途】

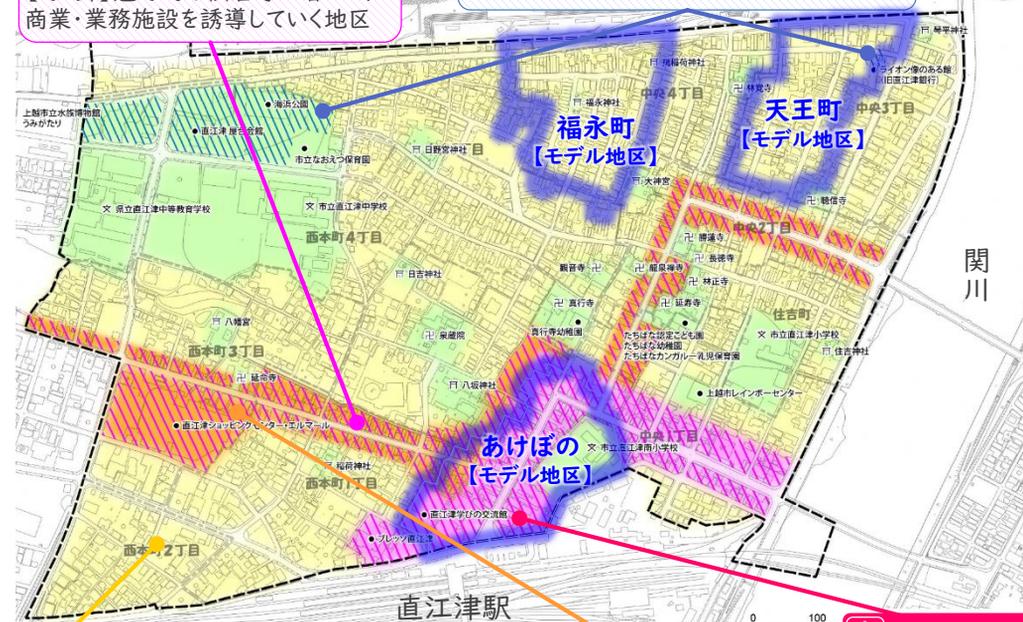
将来のまちのベースとなる「**建物用途**」と、まちの魅力向上や交流人口拡大に向けた施策を展開していく「**個別用途**」について区分をしています。

商業・事業所誘導地区

【方針】魅力的な個店等を増やし、**商業・業務施設を誘導**していく地区

観光拠点

【方針】まちの活性化の核となる地区



【建物用途】

凡例

- 住宅エリア
- 店舗・住宅等混在エリア
- 高度利用エリア

【個別用途】

凡例

- 商業・事業所誘導地区
- 観光拠点

住宅エリア

【方針】まちなか居住の受け皿となる戸建て・集合住宅地としていくエリア

店舗・住宅等混在エリア

【方針】店舗等と居住機能が共存していくエリア

高度利用エリア

【方針】市の中心拠点にふさわしい業務・商業等の都市機能と居住機能が集積し、高度利用していくエリア

◆ まちの将来イメージ図

空き家を積極的に活用

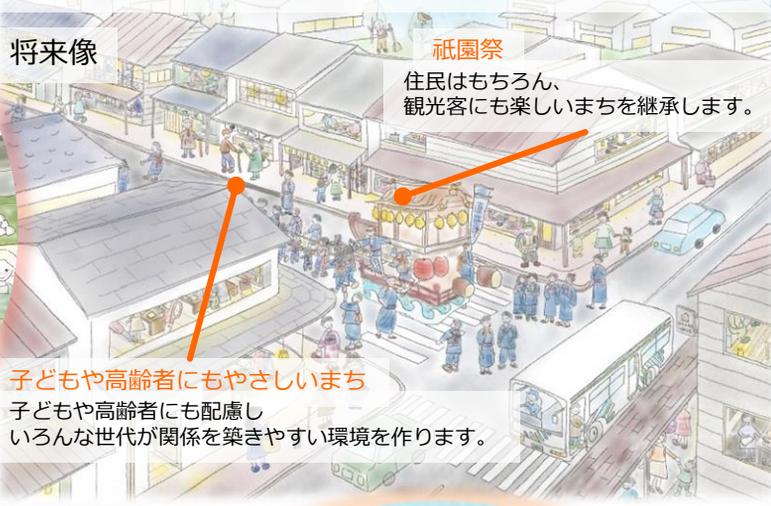
景観にも配慮して
にぎわいのある町並みを作ります。



にぎわいのある町並み

積極的に店舗を出店できるように
柔軟な補助金制度を活用して、
まちを活性化していきます。

■ 店舗・住宅等混在エリア+高度利用エリア



将来像

祇園祭

住民はもちろん、
観光客にも楽しいまちを継承します。

子どもや高齢者にもやさしいまち

子どもや高齢者にも配慮し
いろんな世代が関係を築きやすい環境を作ります。

■ 住宅エリア



将来像

水平線に沈む夕日

海のめぐみを感じられる
自然環境。
豊かな感性を育てます。

隣の空き地を活用し十分な広さの敷地に
カーポートと住宅を新築

駐車場付の住宅

十分な敷地に建てられた
駐車場付の住宅で
快適に暮らします。

三・八朝市

住民や観光客にとって
憩いの場である三・八朝市。
人と人の交流を大切にします。

海岸・河川空間

川や海が近くにある環境で
ジョギング・散歩など
活動を楽しみます。

隣の空き地を活用し
カーポートを増築

◆ 今後の進め方等

令和4年2月16日(水)に、直江津地区 15 町内会長を対象として、
まちなか居住推進事業事務局がとりまとめた「**地区全体のまちづくり方針等**」
についての報告会を開催しました。

今後は、**モデル地区3町内会の住民を対象に事業説明会**を開催し、
令和4年度からは、**モデル地区でのワークショップ**により、**まちなか居住の具体案を検討**していく予定としています。



令和4年2月16日報告会の様子

